

矢部清流学園

学校だより 5号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自ら課題に向き合い、自分の思いや考えをしっかりと考える子どもの育成

令和5年6月23日 文責 古川 志乃

暑さに負けず、頑張ろう!

6月21日(水)は夏至。1年中で最も日が出ている時間が長い日のことです。夏至は「夏に至る」という言葉の通り、本格的な夏の始まりを意味し、気温が上がってくる時期です。こまめに水分を補給し、外で遊ぶ時、運動する時は、必ず帽子をかぶって、熱中症対策に心がけましょう。

6月23日は世界の恒久平和を願う日(沖縄「慰霊の日」)

6月23日の「慰霊の日」は、沖縄戦犠牲者の霊を慰め、世界の恒久平和を願う日です。沖縄県が条例で記念日として定めました。沖縄戦は、太平洋戦争の末期である1945年に、日本軍と、沖縄諸島に上陸したアメリカ軍を主体とする連合軍との間で行われた戦いです。

日本軍は沖縄を本土防衛の最後の拠点とし、連合軍は日本本土に攻め入るための基地として、沖縄諸島を攻略しようと試みました。沖縄戦では、連合軍と日本軍を合わせて20万人以上の犠牲者が出たといわれています。そのうち、一般の犠牲者は推計で約10万人です。沖縄県民の4人に1人が命を落とした壮絶な戦いで、甚大な被害がありました。

【7年生 沖縄戦から平和の尊さを学ぶ授業より】

ひめゆり学徒隊(皆と同じ中高生)が戦争に参加するように命令され、その命令に逆らえない状況にあったことを聞くと、「イヤだ!自分は絶対イヤだ!」と答える生徒たち。語り部さんたちが、辛い戦争を思い出したくもないのに、こうして戦争のことを語られるのはなぜかと問うと、「戦争を二度と起こしてほしくないから」「知らないと間違いが起こる」「語り部さんから聞いて知ったことは、自分たちも他に伝えていく」といった意見(考えたこと)を出していました。

授業の最後に、桑田佳祐 作詞作曲の「平和の琉歌」を聞きながら、今日の授業を振り返っていました。「今、私たちができることは何か」を自分に問いながら...

【平和の琉歌の歌詞より(一部紹介)】

... 民を見捨てた戦争の果てに 蒼いお月様が泣いております 忘れられないことあります 愛を植えましょう この島へ 傷の癒えない人々へ 語り継がれてゆくために ... 愛を植えましょう この島へ 歌を忘れぬ人々へ いつか花咲くその日まで

7・8・9年生 上級学校説明会

6月16日(金)

事前調査したアンケート(生徒や保護者が説明を聞いてみたい高校について)から、13校の高等学校の先生方に矢部まで足を運んでいただき、グループごとに分かれ、一人あたり3校の先生から説明を聞きました。

【感想より】

- ・昨年聞いたときよりも、(取り組まれている内容等)新しいのが増えていて、自分たちが高校一年生になるときは、どんな新しいことがあるのだろうかワクワクしました。オープンキャンパスは是非、見に行ってみたいです。そして、高校に合格するためにも勉強を頑張ろうと思いました。(7年 K.Sさん)
・行きたい高校のことをよく知れてよかったです。それぞれの学校や学科のことがよくわかりました。とてもユニークな先生がいらっしゃって、体育祭も楽しそうで、行きたいなと思いました。高校でお茶や果物などの食べ物を作ったり、動物を育てたりしていて、すごかったです。どの学校も魅力的で、迷っています。次は9年生だから、進路のことを少しずつ考えて決めていきたいです。(8年 N.Yさん)
・どのような学科があるのか、そこでどのような学習をするのか等、知らなかったことをたくさん知ることができました。私は、学習した内容をすぐに復習することができていないので、これから、高校受験に向けて復習をしていきたいと思いました。そして、日頃の生活では、マイナス思考ではなく、明るい言葉を使って、周りの人と明るく楽しい生活を送れるようにしたいです。高校の先生方のお話を聞いて、新たに知ったことなどを、これからの進路学習に生かしていきたいと思いました。(9年 K.Hさん)



学校開放日(授業参観・学級懇談会)、三者面談のお知らせ

Table with 3 columns: Date, Event Name, and Time. Includes events for June 27th (Fire) and June 30th (Gold) / July 3rd (Moon).

※ ご多用中とは存じますが、ご出席のほどよろしくお願いたします。

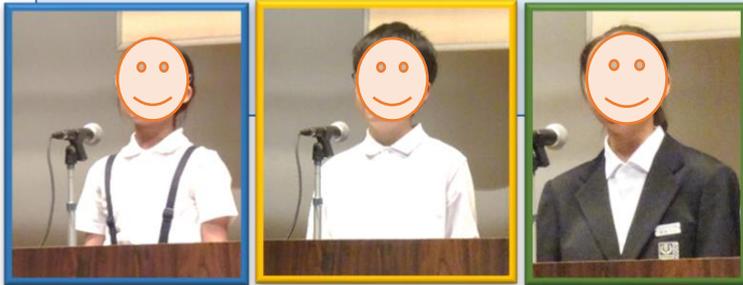
矢部地区青少年の主張大会 6月11日(日)

6月11日(日)、矢部公民館しゃくなげホールにて、矢部地区青少年の主張大会が開催され、本校5名の児童生徒が堂々と発表することができました。これまでの体験学習で学んだことや、授業を通して考えたことなどをまとめ、みんなの前で訴えることによって、会場にいた人たちがよりよい社会づくりのために、自分はどうあるべきかを考えることができたと思います。すばらしい発表をありがとう!

本年度は、八女市青少年育成会市民の会会長の小川栄一さんに講評をいただき、矢部の豊かな自然、そして、地域の方との温かな触れ合いの中で育った子ども達の素直で、真剣な考え(発表)を高く賞賛していただきました。

【発表者および演題】

- 5年 K.Mさん 「水の大切さ」
- 6年 T.Jさん 「サボテンの生き方に学ぶ」
- 7年 Y.Rさん 「矢部の自然を守るために」
- 8年 S.Bさん 「増え続ける消滅集落」
- 9年 U.Kさん 「社会を明るくするために」



矢部地区青少年の主張大会
地区青少年育成会 後援 八女市・八女市教育委員会・矢部



が、自分の思ったとおりにプレーできないときは、とてもつらい気持ちになります。でも、チームメイトがいるから、ここまでサッカーを続けてこられました。だれがミスしても、励まし合い、前向きになることで、ぼく達は強くなりました。そして、ぼくは、ぼく自身に負けてしまわないように、少しでもいいプレーができるように、練習をがんばっています。ぼくが、チームの大切な力になるようにがんばりたいです。

このお話の最後に、サボテンはだれ一人として見る人もなかったのに、おどろくほど美しい花をさかせます。「きびしいかんきょうに負けることなく、助け合う心を大切にすること」を忘れず、このサボテンのような生き方のように、ぼくもこれから歩いていきたいです。(6年 T.Jさん)

八女地区バドミントン大会 6月17日(土)

6月17日(土)、立花町体育館にて、中体連八女地区バドミントン大会が開催されました。

- 【男子ダブルス】
- 1位 K.Rさん・E.Kさん
- 2位 K.Kさん・K.Aさん
- 【女子ダブルス】
- 1位 U.Kさん・K.Hさん
- 【女子シングルス】
- 2位 N.Mさん



激励会 5月31日(水)

八女地区陸上大会(6月1日 久留米陸上競技場にて)や八女地区バドミントン大会に臨む先輩方に向けて、前期課程みんなで激励会を開きました。6年生が全体をまとめて、リードしながら、元気パワーを体育館いっぱい炸裂させました。



【主張文より(一部抜粋)】 国語の授業で「サボテンの花」を学んで...

このきびしいかんきょうにたえ、強い意志を持って、助け合うことの大切さをうったえたサボテンの生き方に、ぼくは心を動かされました。ぼくのまわりの世界でも、協力し助け合う場面が数え切れないほどあります。ぼくは、サッカーをしています

